

## 『ひびのこづえ テロメラゼ』

2003年の「女性に共感し、共鳴される」ワコールカレンダーとして、『ひびのこづえ テロメラゼ』をご提案します。

独自のユニークな視点で1988年からアーティストとして衣裳を制作している“ひびのこづえ”氏。別紙の経歴を見ても国内外を問わず、その評価の高さが伺えます。一方で、その不思議な造形は身につけられるという身近な機能を持つため、個展での作品販売の人気にも目を覚ますものがあります。(以下に“ひびのこづえ”氏のコメントを記載します。)

近年、“ひびのこづえ”氏がテーマにして制作している『テロメラゼ』という一連の作品があります。細胞レベルのこのテーマは、弊社が追求しているThe Body Designing Businessという事業領域の理念とも共通する感性を感じます。(『テロメラゼ』の“ひびのこづえ”氏のコメントも併せて記載します。)

1995年に青山スパイラルガーデンで開催された個展「寄生」も多くの話題となり好評でした。その後、7年の歳月が“ひびのこづえ”氏にどんな「ボディ」を表現させたのか・・・、「からだ」と“ところ”を考える弊社との共鳴(ジョイント)が、2003年のカレンダーで実現します。  
**“その次の、美しさへ。”**

\*写真については個展を作者自身も希望していますが、今回使用した写真は許可は取っていますので使用可能です。

私は服というモチーフを使って、より人の体の美しさおもしろさを知ります。

どんなに目を奪う服を作っても着る人が魅力的でなければ服はただの布きれであり、

また逆に一枚の布が人の魅力によって様々な変化を魅せてくれることもあります。

人の体の何処かが隠れ何かが現れる、お互いの素敵な共存が

服を作る上での最大の楽しみに繋がっています。

2002.6.  
ひびのこづえ

## ひびのこづえ『テロメラゼ』

テロメラゼとは生殖細胞に働く、酵素の名前です。生物には死があり、形あるものはいづれ消滅する。細胞分裂することにより、DNAは新たな組合せをもち、次なる新たな形を試み進化の可能性に挑んでいくのです。ひびのこづえのテロメラゼは、新たな人の形を生み出す、テロメラゼになることを目的としています。

### ▲コンセプトシート

◀イエローのラインワークは発砲インクで印刷想定。テスト校正も作成しました。

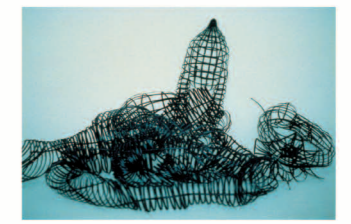
## Kozue Hibino



## ひびのこづえ (コスチューム・アーティスト)

1988年よりコスチュームアーティストとして、雑誌、ポスター、テレビコマercial、演劇、ダンス、パレエ、映画のための衣裳を独自のユニークな視点で制作し続けている。

- 1988年 コスチューム・アーティストとしての活動を始める
- 1989年 個展「DANCING」銀座パルクス/アパレル専門学校 舞台衣装・舞台美術・演出美術
- 1991年 個展「NAEDNESS」浜田真由美展
- 1992年 舞台美術担当「東京の心」舞台美術・演出美術/演出美術/演出美術
- 1993年 舞台美術担当「東京の心」舞台美術・演出美術/演出美術/演出美術
- 1994年 舞台美術担当「東京の心」舞台美術・演出美術/演出美術/演出美術
- 1995年 舞台美術担当「東京の心」舞台美術・演出美術/演出美術/演出美術
- 1996年 舞台美術担当「東京の心」舞台美術・演出美術/演出美術/演出美術
- 1997年 舞台美術担当「東京の心」舞台美術・演出美術/演出美術/演出美術
- 1998年 舞台美術担当「東京の心」舞台美術・演出美術/演出美術/演出美術
- 1999年 舞台美術担当「東京の心」舞台美術・演出美術/演出美術/演出美術
- 2000年 舞台美術担当「東京の心」舞台美術・演出美術/演出美術/演出美術



- 【賞・受賞】
- 1984年 日本グラフィック展・奨励賞受賞
- 1989年 日本グラフィック展・年間作家新人賞受賞
- 1992年 エイボン女性年賞賞・エイボン芸術賞受賞
- 1995年 毎日ファッション大賞・新人賞、賞状奨励賞受賞
- 【出版】
- 1991年 作品集「Naito Kozue」(扶桑社)
- 1995年 作品集「Naito Kozue・2」(扶桑社)
- 1998年 写真集「Sain YURIKO TAKAGI・KOZUE HIBINO」(扶桑社)
- 1999年 作品集「ひびのこづえ・3」(扶桑社)
- 【商品開発】
- 1995年 ハンカチ「KOZUE」発売開始(アルプス・キウワ株式会社)
- 1996年 着物「きま」発売開始(三栄商事株式会社)
- 1998年 小物ブランド「hicks kozue hibino」発売開始(株式会社フェリシモ)
- 2001年 衣裳「ひびのこづえ」発売開始(SHOPキヌエ)